

県営長谷堂アパート(1・2号棟)

水道の水抜き操作方法

- 1、台所・洗面・洗濯・浴室の蛇口を水が少量出るようにしておきます。
(代表箇所のみ表示)



- 2、水抜き操作箇所(下記参照)が玄関ホールにあります。
※部屋のタイプによって水抜き操作箇所が異なりますので各部屋表示にしたがってください。



水抜き、湯抜き操作方法(画像参照)

- イ 水抜き、湯抜き栓の押ボタンを押してください。
ハンドルが出てきます。
 - ロ ①のハンドルを時計廻りに廻す。(水抜き)
 - ハ ②のハンドルを時計廻りに廻す。(閉)
 - ニ 室内の蛇口を全て閉める。
- 3、 トイレのタンクの水を全部流して空(カラ)にして下さい。
これで水抜き作業は終わりになります。

水、湯を使用する際の操作方法

- ホ 室内の蛇口が全て閉まっている事を確認して下さい。
 - ヘ ①のハンドルを反時計廻りに廻す。(通水)
 - ト ②のハンドルを反時計廻りに廻す。(開)
 - チ 水抜き、湯抜き栓押ボタンを下に押す。
- 以上の操作で水の使用が可能になります。

※水を使用する際は蛇口からエアー(空気)が出ますので
少しずつ水を流してください。
また始めのうちは濁った水が出る場合がありますので
少しの時間、水を流してから使用してください。

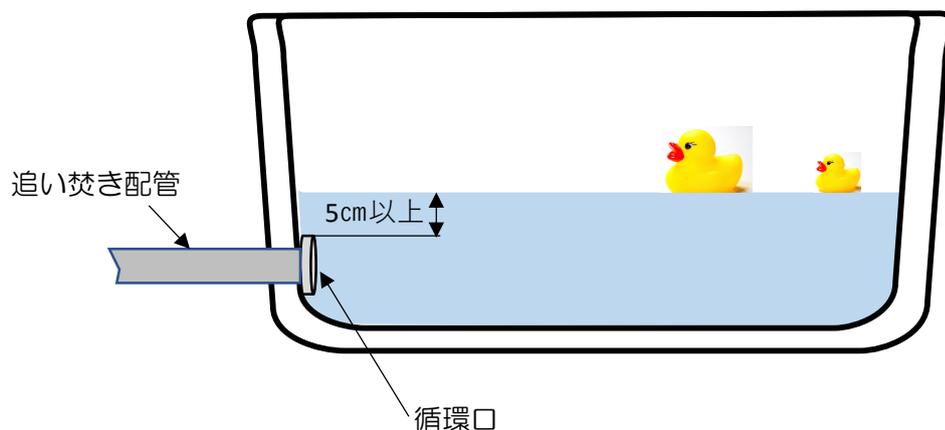
給湯器の凍結防止について

お住まいのお部屋には、給湯器が設置されております。凍結による故障は自己負担となりますので、先の水抜き操作に加え、以下のことをお守りください。

- ① 冬期間中は、長期不在の場合も、室内の契約ブレーカーを切らないでください。
また、室内分電盤の『給湯器及び凍結防止ヒーターのブレーカー』は、絶対に切らないでください。
- ② パイプシャフト（水道メーターがあるところ）に、凍結防止ヒーターがある場合は、コンセントが差し込まれているか確認し、抜けている場合は差し込んでください。
給湯器がベランダにある場合は、その周りの配管にも凍結防止ヒーターが巻いてあります。
どちらの場合も冬期間は必ず『コンセントが抜けていないか確認』をお願いします。
- ③ 給湯器のコンセントも抜かないでください。（給湯器本体のヒーターが作動するため）

※ **追い焚き機能の付いている浴槽**は、循環口より5cm以上になるように水を溜めておいてください。（残り湯で構いません）

∴給湯器が外気温を感知して、自動で追い焚き配管内の水を循環し、凍結を防止します。



追い焚き機能がない場合は、水は溜めておかないでください。

- その他詳細については、各取扱い説明書をご確認ください。
- 長期不在などにより電力の契約解除を行う場合は、事前に住宅センターにもお知らせください。